

ふれあい

第 93 号

社会福祉法人
三川町社会福祉協議会

〒997-1301

山形県東田川郡三川町大字横山字西田85-2

(三川町社会福祉センター内)

電 話 (0235) 66-4410

FAX (0235) 66-4539

ホームページ <https://www.mi-shakyo.or.jp>



『タオルを使った健康体操』

筋力トレーニング教室 ときめきコース

暑さが続くなかでも、賑やかな雰囲気の中で和気あいあいと汗を流し、月2回顔を合わせる仲間とおしゃべりをする事が健康向上につながっています！！

筋力トレーニング教室は、運動強度ごとに「ゆったり」「ときめき」「しなやか」「はつらつ」の4つのコースに分かれています。自分の体力に合ったコースで夏の暑さを吹き飛ばしています。



この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分金により発行しています。



令和6年度 社会福祉協議会 事業報告

共同募金配分金事業

- ミニサロン事業…町内12カ所で開催（福祉センターサロン1カ所・町内会高齢者サロン11カ所）
- ふるさと少年教室…年2回（夏1回・冬1回）開催（児童延べ参加人数47名 協力者延べ人数33名）
- 一人暮らし高齢者・高齢者世帯緊急連絡先カードの整備…発行件数115件
- 福祉・介護機器貸与事業…延べ貸し出し数7台
- 給食サービス事業…毎月第2・4水曜日配食
配食延べ数512食（平均21.3食）、登録者35名



給食サービス事業「ふれあい弁当」調理風景

地域福祉事業（町からの受託事業）

- 楽しく貯筋塾…1・2クール各6回開催
延べ登録者55名、参加延べ人数273名
- 筋力トレーニング教室…4コース各24回開催 延べ登録者105名
- 心配ごと相談所…月曜日～金曜日開設 年間相談実績57件
- 特設無料相談会…相談員：司法書士1名、年4回開催、相談件数17件



世代間交流「ふるさと少年教室」

社会福祉協議会運営事業

- 一人暮らし高齢者会食交流会…年8回開催 参加延べ人数82名
- フードドライブ…随時開催
- 社会福祉センター運営…利用延べ人数17,466名（内、子ども広場317名）
- 地域支え合い体制づくり事業…冬期間見守り援助活動（除雪作業）
延べ利用回数48回

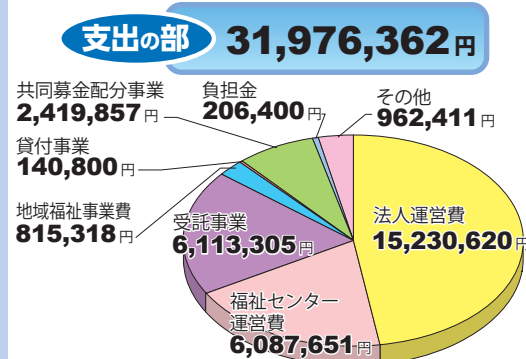
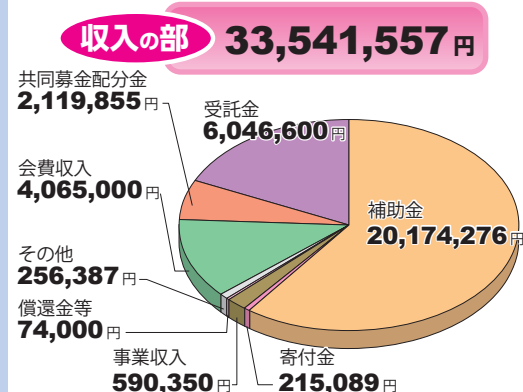


フードドライブ回収ボックス設置（福祉センター）

社会福祉協議会が事務局を担当している団体

- 老人クラブ連合会
- 身体障害者福祉協会
- ボランティア連絡協議会
- 母子寡婦福祉会
- 手をつなぐ育成会
- 遺族会
- 民生児童委員協議会
- 赤十字奉仕団つくしの会

令和6年度 収支決算



令和7年度 社会福祉協議会 事業計画

「三川町地域福祉活動計画」のテーマである『住み慣れた地域でいきいきと健康で安心して暮らし続けるまちづくり』の実現に向けて、住民の主体的な参加と、行政及び福祉員、民生委員・児童委員などの福祉関係者、団体、関連機関、ボランティア等との連携・協働のもと、人と人とがつながる支え合いづくりの取り組みを推進し展開していきます。

加えて、近年、多発する豪雨災害等の自然災害発生時の対応として、災害ボランティアセンターとしての役割が求められております。そのための体制や機能を高めることも含め、三川町と連携していきます。

また、生活困窮者や低所得者世帯、高齢者や障害者の地域での生活を支えるため、相談支援体制の充実と各関係機関との連携を図るとともに、住民の多様な課題に包括的に対応するよう努めていきます。

重点項目

- 地域での見守り・支え合い活動の推進
- 相談・支援体制の強化
- 法人及び社会福祉センター運営の充実



事業実施計画

- 法人運営、基盤強化 …………… 本会事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うための、行政や関係機関との連絡、調整を図り適切な運営を推進する。
- 地域福祉推進事業の展開 ……………
 - ✿ **地域ネットワーク活動の展開**
地域ネットワーク活動の展開地域における人々の共同体（コミュニティ）が、より一層機能的な活動ができるような取り組みを展開する。
 - ✿ **ボランティア活動・地域福祉啓発活動の推進**
ボランティア活動についての啓発活動を行うとともに、小中学生等に対しても地域福祉についての学びの場を提供し、町民が積極的に地域活動に参加できるよう情報を発信する。
 - ✿ **関連機関と連携した福祉活動支援**
町民の主体的、自主的な運営による各種団体や組織に対する情報提供や事務的支援を展開し、活動の充実を図る。
- 高齢者在宅福祉事業の展開 …………… 高齢化が進展する状況において、より健やかに安心して暮らせるよう、見守り活動や健康を保つための支援を展開する。
- 障がい児・者への支援事業の展開 …………… 障がい児・者の社会参加の促進とその家族が安心して生活できるよう、相談・情報提供を行う。
- ひとり親世帯への支援事業の展開 …………… 抱えている課題等を明確にしながら、その支援策の充実を図る。
- 生活支援活動の展開 …………… 町民にもっとも身近な相談機関として、各種相談のほか、福祉資金の貸付相談や権利擁護のための支援活動などを展開する。
- 共同募金活動の展開 ……………
 - ✿ **赤い羽根共同募金運動の推進（10月1日～12月31日）**
 - ✿ **歳末たすけあい運動の推進（12月1日～12月31日）**
- 施設の適正管理 …………… 町民の社会福祉の拠点として、利用者の誰もが安心して利用できるように施設運営を行う。



会長就任のあいさつ

社会福祉法人

三川町社会福祉協議会

会長 石川 稔

去る六月の理事会において会長に選任いただき、責任の重さを痛感しております。これまで長年にわたり務められた阿部誠前会長の実績と地域福祉への思いをしつかりと引き継ぎ、誠心誠意努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本町においても、少子高齢化や核家族化とともに、地域での社会的孤立、限定的な近所づきあいなど、地域とのつながりの希薄化が年々強まっている状況にあります。また、介護と子育てを同時に抱えるダブルケア問題、子どもが家族の介護等を担うヤングケアラーなど、新たな課題も生まれてきております。これらの課題を解決し、住み慣れた地域で、誰もが生きいきと自立した生活を送るためには、大きなシステムづくりを行政が、個々の支えあいを住民が、そのネットワークづくりと調整役を社会福祉協議会が、各々の立場で協力して働き合う協働による取り組みが大切であります。

今後とも、この三川という地域の「支えあい・助け合い」の取り組みが、日常的により活発に行われる地域社会、コミュニティになるよう、職員とともに、なお一層努力してまいりますので、皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

美化活動

5月22日(木)三川町赤十字奉仕団つくしの会の皆さんから、福祉センターの環境整備活動として、敷地内の除草や車椅子の清掃、花の植え付けをしていただきました。つくしの会の皆様、雨天での作業ありがとうございました。

つくしの会では、はんどめいど糸楽蔵やなの花荘で、定期的にボランティア活動をしています。11月には、横山小学校児童との交流活動も予定しています。



フードドライブへご協力をお願いします

R7.3.1～R7.7.31に頂いた物資の量 **[201.3kg]**

フードドライブとは、家庭で余っている、または使う予定が無い食品を、食の支援を必要とする世帯へお渡しする活動です。食べられるのに捨てられてしまう食品ロスを減らすことにも繋がります。缶詰1つ、お菓子1つからでもご提供いただけます。もし、お手元に余ってしまった食品がありましたら是非ご協力をお願いします。

○回収場所…三川町社会福祉センターと、イオン三川店サービスカウンター脇に回収ボックスを設置しています。

○ご注意いただきたい点

- ・賞味期限が明記されており、残り2か月以上あるもの
- ・常温保存が可能なもの
- ・未開封のもの
- ・破損、変形などしておらず、中身が出ていないもの

今年度の社会福祉協議会職員体制

嘱託職員	主任	主査	事務局長	副会長	会長
大瀧 知子	渡邊 沙弥華	高橋 朋子(三川町から派遣)	松澤 透	佐藤 亮(三川町副町長)	石川 稔